

兵庫県民間病院協会会報

2026

5

令和8年 通巻663号

目次

巻頭言	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 井野隆弘	1
随筆		
身体的拘束最小化について	(一社)兵庫県民間病院協会 副会長 北川透	2
認知症予防に	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 森村安史	3
日々 おもうこと	(医社)普門会 姫路田中病院 事務長 田中順子	5
私のストレス発散法	(医社)豊明会 常岡病院 看護部長 吉川幸美	6
理事会報告		7
病院かわら版	(医社)石橋内科 広畑センチュリー病院	9
エリア情報 (神戸・東阪神・西阪神・東播・西播)		11
協会だより		19
お知らせ		19
(一社)兵庫県全日本病院協会だより		20
兵庫県病院協同組合だより		24
兵庫県病院企業年金基金だより		26

ホルムズ海峡封鎖に思う

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(医社)汐咲会理事長・井野病院院長

井野 隆弘



4月に入り、アメリカ・イラン紛争に端を発するホルムズ海峡封鎖の報道が連日続いている。いわゆる「第二次石油危機」とも言われ、ガソリン・軽油といった燃料逼迫による物流停滞や輸送コストの上昇に加え、ナフサ不足による石油製品全般の供給不足が懸念されている。これは日用品にとどまらず、医療材料や医薬品の包装資材にまで影響が及ぶ可能性があり、医療提供体制にとって看過できない問題である。

政府は石油については中東以外からの代替調達に一定の見通しを示しているものの、ナフサについては国内備蓄が乏しく、石油由来製品の供給制約は避け難いとの指摘もある。ディスプレイ製品をはじめとする医療材料の多くが石油化学製品に依存している現状を踏まえれば、その影響は医療現場に直接的に及ぶ。既に一部では供給遅延や価格上昇の兆しも伝えられており、我々医療従事者にとっても、コロナ禍に匹敵する、あるいはそれ以上に重大な危機として認識すべき段階に入っていると感じる。

新型コロナウイルス感染症の流行初期においても、医療資源の逼迫は深刻であった。しかし、国を挙げた対策のもと、感染防御の徹底、ワクチン接種体制の整備、医療提供体制の拡充など、医療関係者が総力を挙げて対応した結果、段階的に社会的影響を抑制することができた。この経験は、危機に際して医療界が果たし得る役割の大きさを示したものである。

一方で、今回の石油危機は国際政治に起因するものであり、その発端も解決も我々医療関係者の手の及ばない領域にある。事態の長期化も懸念され、先行きの不透明さという点では、感染症とは異なる難しさを抱えている。だからこそ、外的要因に依存しない「備え」が重要となってくる。

具体的には、医療材料の適正在庫の再検討、供給途絶時の代替手段の検討、エネルギー使用の効率化、さらには地域医療機関間での資源融通の枠組み構築など、平時からの備えを強化する必要がある。また、医療機関単独での対応には限界がある以上、行政との連携を一層密にし、情報共有と迅速な意思決定が可能な体制整備も不可欠であろう。

本年6月には診療報酬改定が予定されており、病院経営の改善が期待されている。しかしながら、エネルギー価格や医療材料費の高騰が続けば、その効果が相殺される可能性も否定できない。こうした状況を回避するために、1日も早くホルムズ海峡の開放を願うものである。

身体的拘束最小化について

(一社)兵庫県民間病院協会副会長
(医)協和会理事長 (第二協立病院)

北川 透



2026年度の診療報酬改訂において身体的拘束最小化に向けての取り組みがさらに求められるようになりました。前回の改訂では、「身体的拘束最小化の体制に係る基準」が設けられ記録、チーム、指針、研修等の基準を満たせない場合には入院料を40点減点とされていました。今回、「身体的拘束最小化推進体制加算（1日につき40点）」が新たに設けられ、身体的拘束を実施した日数の割合が3%以下(届出から1年間は5%以下)が求められています。さらに、「身体的拘束最小化の実績等に係る基準」も新設され、身体的拘束の実施割合が集計されており1割5分以下であること、もしくは、身体的拘束の原則廃止に向けていくつかの取り組みを継続して行っていることが求められ、この基準を満たせない場合には入院料を20点減算するという一方で、具体的な数値目標が設定されました。次回の改定では、身体的拘束の実施割合として15%程度が求められる可能性も視野に準備を行っておくことが必要ではないかと考えています。

「身体拘束廃止・防止の手引き」(厚労省)によれば、身体的拘束はひも等で縛ることだけではなく、ベッドをサイドレールで囲むこと、手指の機能を制限するミトン型の手袋、過剰な向精神薬、ずり落ちたり立ち上がったしないようにする車椅子の腰ベルトや車椅子テーブル等も含まれています。当法人の各病院で身体的拘束の実施割合を確認したところ、急性期病院では10%を下回っていますが、回復期・慢性期の病院

では15%はクリアできておらず、病院によっては20%を上回っている状況でした。そこで、当法人では経鼻経管栄養の患者に着目しています。

高齢者が食事が十分に摂取できなくなり急性期病院に入院した際、経静脈栄養もしくは経管栄養による治療が行われますが、全身状態が改善されても高齢者の食事摂取を十分に回復させることは容易ではなく、回復期もしくは慢性期の病院へ転院となることも少なくありません。中心静脈栄養を長期に行うことは消化管からの栄養摂取が困難な場合に限られており、経管栄養は経鼻が第一選択となる訳ですが、この際、急性期病院で経鼻経管栄養がガイドラインにおいて4週間までであることを余り強く説明すると、転院に不安を感じる患者も少なくありません。一方、回復期・慢性期の病院で経鼻経管栄養が4週間を過ぎて胃瘻の説明を行っても、最初に十分な説明を受けていなければ胃瘻はかわいそうとかいうことで拒否する家族も多いのが現状です。経鼻経管の方が患者本人にはかわいそうですし、チューブを無意識に引き抜く行為は当然で、身体的拘束を避けることは容易ではありません。まずは急性期病院に理解頂くことが重要であり、当法人では川西市医師会と協力し、人生会議の冊子に関して、心臓や呼吸が止まったときだけではなく、食事が取れなくなってきたときにどうするかということに重点を置いた改訂を行い、周辺の急性期病院へも紹介しています。

認知症予防に

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(医)樹光会理事長 (大村病院)

森村 安史



認知症の診療をしていると、患者さんやご家族から認知症の予防や、これ以上進まないためにはどうすればいいのか、という質問をいただくことがしばしばある。その答えの一つに「新しい趣味を持ちなさい、何か新しいことにチャレンジすることはとてもいいことですよ」という極めて教科書的な答えが用意されている。趣味のある人は趣味がない人に比べて、認知症の発症リスクが抑えられるということはエビデンスも示されている。新しいことにチャレンジすることは、脳の予備力の面からも神経ネットワークの活動を増加させることから推奨されているのである。

「二四時間戦えますか!」「5時から男」というコマーシャルが流行していたバブル時代に、日本経済を支えてくださっていた現在の高齢者は、趣味に生きることなど考えたこともないのである。過去の企業戦士たちに新しい趣味を持ちなさいと伝えても、全く心には響かないのである。高齢期に入ってこれまでのライフスタイルを変えて新しい趣味を始めろと言われても、何をしたら良いのかがわからないのがこの世代の人たちである。

私自身、手軽に楽しめている趣味と言えるものはゴルフくらいしかない。そのゴルフも膝を痛めたり、腰が痛かったりしてこれまでのように楽しめなくなってしまうと、暇な日曜日に一体何をして過ごしたら良いのかがわからなくなってしまう。私の趣味については、別の冊子

に寄稿させていただいたことがあるので、読んでいただいた方もいらっしゃるかもしれないが、残念ながら昨今の世界情勢、原油高、物価高騰の煽りを受けて、旅行には手軽に出かけることも叶わなくなった。外来を訪れる患者さんたちに趣味を持ちなさいということをお話しながら、一方で自分自身を振り返った時に、自由に体が動かせなくなったら何ができるのだろうかと考え込んでしまう。

ある大学教授の退官記念のパーティの席で、私も教えを乞うた大御所の先生が話しておられたことが耳に残っている。退官される先生への餞（はなむけ）として「人生はこの先まだ20年、30年あるのだから、これまで自分がやりたいと思っていたことを完成させてください。若い頃には忙しくて途中で投げ出してしまったことや、途中までしかできていなかったことを完成させる時間として使いなさい」といった内容のお話であった。この言葉を聞いて私も思い出すことがあった。高校生の頃から興味を持って多くの書物などにも目を通してきたのだが、いまだに何もできないままに馬齢を重ねてしまっていた。そのうちにすっかり頭の中から消えてしまっていた私の宿題が蘇ってきたのである。大学時代には関連図書もたくさん手に入れて、試験勉強もせずにそのことを考えていた時期もあった。語学力や能力不足のためずっと疑問が解けぬままに過ごしていた。しかし精神科医になり病院の

経営者となり青春時代に考えていたことがいつの間にかすっかり忘れ去られてしまっていた。当時集めていた本も今ではどこに行ってしまったかもわからない。私が何をしたいのかの答えはここでは書かない。それが完成することがあれば、またどこかの誌面に書かせていただくこともあるだろう。これから後期高齢者となり認知症予防のために自分自身が

努力しなければならぬ時を迎えた。大御所の先生から改めて挑戦してみてもどうかというヒントを与えていただいた。今ではチャッピーやジェミニがいろいろ手伝ってくれるので文献集めや海外論文を読む必要もない。どうやら昔の思い出にチャレンジしてみる時が来たのかもしれない。

これからの医業経営へ、「信頼」で結びたい。



医療・保健・介護・福祉施設が抱えるあらゆる課題を、資格認定されたコンサルタントが解決します。

『認定登録 医業経営コンサルタント』は、医業経営に携わる方々が直面する課題に的確・迅速に対応するため、所定の継続研修を履修し、常に資質の向上を図っています。

JAHMC
Japan Association of Healthcare Management Consultants
公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル5階
TEL:03-5275-6996 FAX:03-5275-6991 <http://www.jahmc.or.jp>

日々 おもうこと

(医社)普門会 姫路田中病院事務長

田中 順子

昭和、平成、令和と時代は進み、ITやAIの時代に突入し、置いてきぼりになってしまいそうな昨今です。

病院の7割は、赤字という不安定な状況に加えてイラン情勢が追い打ちをかけています。

また今回の診療報酬改定においても中小の病院にとっては、更に向かい風が吹いてやまないと感じています。

さて、常日頃の慢性的な悩みであるstaff不足、そして採用後の継続の難しさは、長年のストレス源のひとつです。紹介会社の紹介料は法外に高く、また紹介会社は具体的に転職の意向がなくても登録を促すそうですから困ったものです。求職者の方からも若干でも手数料が発生すれば、簡単に登録されることが減るのでは、と考えてしまいます。依頼せずとも日に何度も電話が鳴ります。一日の入職だけでやめてしまわれることもありました。紹介料は賃上げを阻害していると思います。こういった事業を何とか規制したいいただきたいものです。

他にも困りごとは、日々尽きません。設備の不具合や故障、特に空調の不調や医療機器の故障等は、急を要しますし、費用面も大きな懸念材料です。最近では、イラン情勢の影響で医療材料やグローブ、ポリ袋などの消耗品も在庫切れや高騰の一途です。価格は一度上がると事態が変わっても元に戻ることは、まずありません。

他にも患者さんからの理不尽な要求に悩まされるカスタマーハラスメントやモラルハラスメ

ントにも時代の変化を感じます。

事務長業務は、一難去ってまた一難の日常業務で、これ業務？と思うことも多々ありますが、皆さんの協力のもとひとつずつ解決できているように思います。

物事が簡単にできるだろうと思うから難しいと感じるのであろうと思います。問題に真摯に謙虚に向き合い、与えられた環境の中で、できない理由を考えるのではなく、betterを目指して取り組み、地域に頼られる病院、またstaffに愛される病院を目指したいと思います。

職員の幸せを第一に考える経営をすることが、患者さんの幸せにも繋がっていきます。

意識改革が必須ですが、みんなの意識を変えることは、一番難しい課題です。嘘をつかない、努力する、弱い者をいじめない、業務でこの3つを守る。そして人間という集団が善い思いを持ち、心をひとつにして物事に取り組み、想像を超えるような力を発揮できることでしょう。誠実に取り組み、善き心が中心にあれば人間は団結することができ、不可能と思えることさえも実現できるでしょう。この力を信じて、部署間でも協力し、各人が自分の持ち場を自身の事業としてとらえることができれば、これが意識改革にも繋がっていくと考えます。

限られた医療資源やstaffでの環境ですが、職員みんなで誠実に、善き心を軸に、日々の業務に向かい合っていきたいと思います。

私のストレス発散法

(医社)豊明会 常岡病院看護部長

吉川 幸美



50代は、体力の衰えを少しずつ感じ始め、「無理がきかなくなってきた」という現実に向き合う年代ではないでしょうか。こうした日々の中で上手くストレスを発散させることは、心身の健康を保つうえで欠かせないものとなってきます。

私も50代になり、家族の形が変わり、仕事の責任が増え、また自身の身体や心の変化もあり、知らず知らずのうちにストレスが積み重なっているように感じています。

30～40代は仕事終わりや休日に、家族や友人と食事後、ボーリングに行きそのまま朝までカラオケを楽しむ、また、年に1～2回は海外旅行へ行くなどしてストレスを発散してきました。しかし50代になると、このような発散方法ではかえって疲労感を残しかねません。

癒しを求めて娘と一緒に御朱印巡りを始めましたが、コロナ禍になり、外出を自粛したため、数カ所ほどで行けなくなってしまいました。そこで、前々からやりたかったフラワーアレンジメントとパン作りにチャレンジすることにしました。

まずはフラワーアレンジメントですが、生花ではなく、造花でチャレンジしました。近頃の造花はすごくよくできており、季節ごとの花や種類も豊富にあり、また値段も安く簡単に手に入ります。テーマを決め、花や花器を選んだりすることも楽しみの一つです。そして花の種類

や色、高低差等のバランスを考えながら作成した花を見ているだけで、心が落ち着き、自然に笑顔になっている自分がありました。

次にパン作りですが、計量から焼きあがるまで気が抜けない作業となるので、余計なことは考えず集中できます。一心不乱に手でこね、発酵させた生地を成形。

そして、オーブンから焼きたてのパンの香りが広がると、それだけで気持ちが和らぎ、達成感も味わえます。今まで、たくさんの種類のパンを作ってきましたが、家族や友人に好評だったのが明太フランスです。

今では私のスマホの中には、フラワーアレンジメントとパンの写真がたくさん残っています。

これまでもいろんな趣味がストレス発散に繋がってきましたが、今は、休みの日に好きなことを、好きな音楽を聴きながら、自分のペースですること、気持ちがリセットされ前向きな気持ちになることができます。

また、今後は御朱印巡りも再開できたらと考えています。

これから先のことを考えると不安なことも多い状況ですが、今後も忙しさの合間に、自分の心と身体を休ませる時間を確保しつつ、日々の小さな楽しみや時間を大切にしてこれからも過ごしていきたいと思っています。

令和8年度 第1回

理事会議事録(速報)

I 日 時 令和8年4月16日(木)
15:00～15:30

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第2・3会議室

III 出席者 理事総数19名 出席理事12名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：橋本創(会長)、北川透(副会長)、
東靖人(副会長)、常岡豊、馬殿徹也、
大江与喜子、西昂、藤久和、宮地千尋、
吉田寛、大西尚、井上喜通
監 事：大村武久、稲見直邦
オブザーバー：播間利光(事務長会会長)、
高田郁子(看護部長会会長)

なお、北川透、東靖人、馬殿徹也、藤久和、
吉田寛、大西尚、井上喜通はWeb会議システ
ムにより出席した。

IV 会長挨拶

橋本会長より、イラン情勢の影響により、
将来的なガス・電気料金の上昇が予想され、
診療報酬改定による増収分の相殺が懸念され
る旨の発言があり、続いて、3月に開催され
た医療審議会および病院構造改革委員会につ
いての報告があった。

V 会議の成立

理事12名が出席し、定款第34条に規定する
定足数を満たしており、本理事会が成立した
旨確認された。

VI 議 長

橋本創会長が、定款第33条の規定により議
長となった。

VII 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

- (1) 令和8年度定時総会及び特別講演会・
懇親会の日程・役割分担等について
(共通事項)

中村事務局長より、資料に基づき、総
会及び特別講演会・懇親会の役割分担案
について改めて説明があり、協議の結果、
全員一致をもって承認し、可決した。

①日 時 令和8年6月18日(木)
14:00～19:00

②場 所 ラ・スイート神戸
オーシャンズガーデン

③講演会

厚生労働省 保険局 医療課 課長補佐
佐々木 康輔 氏
(演題)

令和8年度診療報酬改定の概要

- (2) 令和8年度近畿病院団体連合会第1回
委員会について

中村事務局長より、下記のとおり開催
され、提案議題がある場合は事務局まで
ご連絡いただくよう説明があった。

①日 時 令和8年7月17日(金)
13:40～18:30

②場 所 ホテルグランヴィア和歌山
6階「ル・グラン」

2 報告事項

(1) 会員の変更について

中村事務局長より、以下のとおり会員の変更が報告された。

支部名	東阪神	
病院名 (法人名省略)	伊丹恒生脳神経外科 病院	
新会員名	役職	院長
	氏名	しまだ しんいち 島田 真一
旧会員名	役職	院長
	氏名	のだ しんや 野田 真也
変更年月日	R8.4.1	

(2) 神戸圏域医療介護連携システムの利用 状況について

中村事務局長より、資料に基づき、神戸圏域医療介護連携システムの利用状況について報告された。

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。



私たちは、働く皆様に
「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について
詳しくはこちらをご覧ください



東洋羽毛関西販売株式会社

〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-1-14

神戸営業所

☎0120-360-420



医療法人社団石橋内科
広畑センチュリー病院

「生きる喜び」を爆発させる医療と、専門職による質の追求
～フラミンゴの舞う庭、そして誤嚥性肺炎を半減させる専門ケアの力～

当院は、西暦2000年という節目に「広畑センチュリー病院」として新たな歩みを始めました。創業から60年、私たちが追求してきたのは、単なる治療の場を超えた「患者様が心から幸せを感じ、生きる意欲が湧いてくる環境づくり」です。

当院に足を踏み入れた方がまず驚かれるのは、中庭で優雅に過ごす10羽のフラミンゴの姿

でしょう。待ち時間に非日常の安らぎを感じていただくための当院ならではの風景です。また、外来および病棟には専任の「コンシェルジュ」を派遣しております。医療スタッフとは異なる視点から患者様の不便やニーズをいち早く汲み取り、迅速に対応することで、安心して快適な療養環境を整えています。



コンシェルジュ 北条 麻子

医療の質、特に高齢患者様の命を守る取り組みにおいても、当院は独自の体制を敷いています。その筆頭が、病棟への「専任歯科衛生士」の配置です。口腔ケアを徹底することで、高齢者の命を脅かす誤嚥性肺炎の発生率を、導入前の半分以下にまで抑え込むことに成功しました。こうした科学的根拠に基づいた専門職の介

入は、患者様の安全を支える当院の大きな柱となっています。

さらに、私たちは患者様のADL（日常生活動作）向上のために、心への刺激も不可欠であると考えています。その象徴が、年間数十回に及ぶ大規模な院内イベントです。

エ リ ア 情 報

神戸

(公社) 神戸市民間病院協会
令和8年4月度 第10回理事会

日 時 令和8年4月23日(木)
15:00～16:10
場 所 神戸看護専門学校 8階会議室

理事総数15名 出席理事数12名
監事総数2名 出席監事数2名

出席役員

代表理事 (会長) 西 昂 (議事録作成者)
理 事 高橋玲比古、吉田寛、宮地千尋、
金守良、稲見直邦、吉田泰久、
中井正信、藤井正彦、笹野哲郎、
大西安代、中野市雄
監 事 西村元延、飯塚敏勝

出席参与・参事

参 与 山本正之、藤久和、具英成
参 事 横内幸男、阿児良典、高田郁子、
福永有紀子

上記出席者のうち、理事 宮地千尋、金守良、
藤井正彦、笹野哲郎はWEB会議システムを用
いて出席した。

上記のとおり出席があったので、定款第33条
の規定により会長 西 昂が議長となり、審議
に先立ち、WEB会議システムにより、出席者
が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明
が互いにできる状態となっていることを確認し
た上で、開会を宣し議事に入った。

報告事項1 令和8年3月度管理部門並びに看
護専門学校等の収支報告
報告事項2 学校報告
報告事項3 事務長部会収支報告、看護部長部
会収支報告
報告事項4 兵庫県へ「令和8年度事業計画・
収支予算」を提出

報告事項1、3、4については事務局長より、
報告事項2については学校長より下記のとおり
報告を行った。

【学校報告】

- (1) 令和8年度入学式
令和8年4月7日(火) 24期生63名が入学
10:00～ 8階講堂にて挙行
- (2) 学生の状況
1年生：
入学生 24期生63名
(女子55名、男子8名) 休学者1名
現役生：32名 50.8% (昨年47.9%)
社会人経験者：31名 49.2% (昨年52.1%)
平均年齢：24.3歳 (昨年25.5歳)
4月7日
入学式終了後に保護者説明会開催
4月8日～15日
入学ガイダンス
4月17日
学外研修 (人間関係構築・協調性育成
のための研修)
4月21日～24日
看護を考える実習
4月28日
新入生歓迎会
2年生：
在籍者数 72名 (内、男子8名)
3年生：
在籍者数 70名 (内、男子8名)

エ リ ア 情 報

5月12日～7月31日

専門分野実習

学生在籍者総数：205名

(3) 第115回看護師国家試験結果

受験者：56名 合格者：46名

() は昨年結果

合格率：本校：新卒者 82.1% (91.8%)

全 体 80.0% (85.9%)

全国：新卒者 94.1% (95.9%)

全 体 88.3% (90.1%)

4月9日、今後の国家試験対策について会長と協議

国家試験合格率向上を目指し、国家試験の学習支援対策を充実強化

既卒者への学習支援を積極的に実施

(4) 就職説明会

4月10日(金) 13:30～16:30

兵庫県中央労働センターにて各会員病院の説明会を開催

30施設参加 2部制(1部：1年生対象、2部：2・3年生対象)で実施

アンケート結果：場所・時間・構成等について満足度が高く、「学生と楽しく話す機会が持てて良かった」という意見等があった

(5) 2027年度入学試験の募集要項変更点について

社会人を対象とした要件として、兵庫県民間病院協会会員病院で2年間の勤務経験者と、現在勤務している者の推薦枠を4回の入学試験全てに導入

(6) 職員人事に関する事項

職員：職員総数24名

(教員16名 事務職8名)

議題1 令和7年度事業報告及び決算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)の承認の件

議長の指名により事務局長から、第14期令和8年度定時総会資料をもとに、令和7年度事業報告及び決算書類等(第14期貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書等)の内容について説明した。

議長は、本案を議場に諮った結果、賛成多数で承認された。

議題2 理事・監事・参与の選任の件

議長の指名により事務局長から、定時総会資料の現役員一覧及び次期役員候補一覧をもとに、現役員のうち金理事及び久野理事が退任されること、後任候補として偕生病院の横井理事長を、またもう1名の候補者については、将来的な就任を前提としつつ、今回は欠員のまま進めていく旨説明した。

議長は本案を議場に諮った結果、賛成多数で承認された。

議題3 定時社員総会招集の件

議題4 定時総会後「合同懇親会」招待者の確認

議長の指名により事務局長から、定時総会招集の案内(5月28日 ホテルオークラ神戸)及び定時総会後の神戸市第二次救急病院協議会との合同懇親会の招待者案について説明を行った。

議長は本案を議場に諮った結果、賛成多数で承認された。

議題5 就業規則・規程の改正について

議長の指名により事務局長から、就業規則・規程の改正について、2月理事会で概要承認を得た後、協会顧問の社会保険労務士の内容確認を得た上で教職員への説明会を開催したこと、及び2月理事会以降の規則・規程の変更点について説明を行った。

議長は本案を議場に諮った結果、賛成多数で承認され、改正就業規則・規程の内容が確定した。

エ リ ア 情 報

議題6 神戸市委員会等への委員の推薦について

議長の指名により事務局長から、①在宅酸素療法患者の災害時初動体制に関する検討会(仮)については、川崎病院川崎在宅クリニックの松島和樹氏を、②在宅医療に必要な連携を担う拠点ワーキングについては、真星病院地域包括ケア部課長・地域連携室室長の真保友仁氏を推薦する旨説明した。

議長は本案を議場に諮った結果、賛成多数で承認された。

議題7 自民党神戸市会議員団との要望懇談会について(報告)

議長の指名により事務局長から、3月24日に開催された自民党神戸市会議員団との要望懇談会について、神戸市予算への当協会及び神戸市第二次救急病院協議会からの要望に対する同党からの回答及び意見交換の内容について報告した。

議題8 その他

- ・定時総会 令和8年5月28日(木)
ホテルオークラ神戸
神戸市民間病院協会 15:00
神戸市第二次救急病院協議会 16:00
合同懇親会 17:20頃～
- ・6月理事会 令和8年6月11日(木)
15:00～16:00

議題終了後、神戸市第二次救急病院協議会と合同で、4月の人事異動に伴う神戸市健康局・消防局職員の挨拶、及び消防局の転院搬送ガイドラインの一部改定についての説明を受けた。

(一社)神戸市第二次救急病院協議会 第11回理事会議事録

日 時 令和8年4月23日(木)
15:50～16:50
場 所 神戸看護専門学校 8階 会議室
出席役員 理事 10名
監事 2名(Web1名含む)
実行委員9名
議 長 高橋 会長

議 題

1 神戸市健康局・消防局令和8年度幹部職員挨拶と依頼事項について

神戸市健康局・消防局より令和8年度組織編成に伴い、神戸市民間病院協会及び神戸市第二次救急病院協議会に熊谷健康局長以下、多数の幹部職員が来訪され、代表として、熊谷健康局長、増井消防局救急部長が神戸市の現況の医療情勢を報告され新年度以降への方針を含めた挨拶があり、続いて来訪された幹部職員の方々が個々に自己紹介された。その後、神戸市消防局より、「消防救急車による緊急転院搬送ガイドライン」の一部改定について説明があり、神戸市民間病院協会・神戸市第二次救急病院協議会の会員病院へ周知をお願いされた。次に同じく神戸市消防局より令和8年4月から実施稼働された新たな救急情報システムの活用に向け、各会員病院へ専用端末(タブレット)を配置して画像を含めた患者情報の電子化が開始された。それに伴い、神戸市消防局と当協議会間で覚書を締結するが、実際は神戸市消防局と会員病院間での運用となる。そこで、当協議会より会員病院へ「神戸市救急情報システム利用規約」、「神戸市救急情報システム物品等配置サービス規約」を周知して頂き、この規約順守の同意書

を提出して頂く事となったとした。そこで近日中に正式に覚書を締結し、その旨、会員病院へ通知、協力依頼する事になった。

2 実行委員の交代について

釜戸事務局長より、本年4月で神戸赤十字病院小野医事課長の転任により新たに実行委員に任命される村尾医事課長に委嘱状が高橋会長から手渡され、村尾実行委員が受諾した。

3 令和8年度事業計画について

高橋会長より令和8年度事業計画の説明があった。それによると、新型コロナウイルス感染症の法的位置付け変更から時間が経過し神戸市の救急医療体制は徐々に平時へと移行しつつある。然しながら、感染症対応で培われた柔軟、かつ迅速な対応力は、今後の救急医療においても引き続き重要な要素である。一方で、神戸市における救急需要は依然として高水準で推移しており、高齢化の進展に伴い更なる増加が懸念されている。神戸市における救急搬送のうち約72%を二次救急病院が担っており、当協議会加盟病院は地域救急医療の中核をになっている。しかしながら、救急医療を担う医療機関は、「医師の働き方改革」「人的資源の逼迫」「救急医療の構造的採算性」といった課題に直面し、経営的に極めて厳しい状況に置かれている。このような背景のもと、当協議会は神戸市に対し、救急医療の実態と社会的意義を継続的に提示し、政策提言を行って来た。その結果、令和8年度において運営補助金は前年度比約30%増（約8,300万円増）という大幅な増額が決定された。これは「救急患者数の増加」「搬送件数当たりの補助金単価の低下」といった構造的課題が行政に認識された結果であり、二次救急医療が神戸市医療の基盤である事が制度的に評価された成果である。更に本増

額に当たっては、「転院搬送の適正化」、「小児外傷患者の積極的受入」、「#7119へのMefis登録情報の活用」といった具体的な機能強化を求められており、救急医療の質と効率を両立させる政策的枠組みが構築された。又、転院搬送に関しては、ガイドライン改定及びワーキンググループでの検討により①転院搬送件数：前年同期比▲787件（▲17%、 $p < 0.01$ ）、②年間：約12%減（約866件減）、③差の差分析：平均3.4件/日減少（ $p < 0.05$ ）と統計学的にも明確な改善が確認された。更に、①民間搬送：+8%増加、②病院救急車の活用進展、③低緊急搬送割合の低下（32%→29%、 $p < 0.01$ ）と搬送リソースの適正配分が進展している。当協議会はこれらの成果を基盤とし、持続可能な救急医療体制の確立に向けて以下の方針に基づき活動を展開する。

（概略として）

1. 二次救急機能の強化
 2. 医師の働き方改革への対応
 3. 終末期救急医療への取り組み
 4. 在宅重症身障児者救急への協力
 5. 救急患者の適正搬送への取り組み
 6. 搬送リソースの最適化
 7. 情報システム（Mefis等）の活用
 8. 大災害への対応…災害対応マニュアル及びBCPの整備推進、地域貢献
 9. 救急医療体制の持続可能性の確保
 10. 初期救急・三次医療機関との連携強化
- 以上、高橋会長の簡潔な説明後、理事会に諮ったところ異議なく承認された。

4 令和7年度事業報告・決算報告・運営補助金について

釜戸事務局長より令和7年度当協議会事業報告・決算報告・運営補助金の説明があった。それによると、事業報告は例年通り年間会議

エ リ ア 情 報

開催実績回数、救急患者数実績の経年比較、及び会員病院数異動状況の説明があった。次に、令和7年度の決算報告は、昨年計上した予算額と比較した説明があり、先ず、収入の部では、概ね予算額との誤差は想定されたもので、一部の運営補助金項目は予算時に想定した予測額より3月末での実績が増額となった。又、システム改修準備金は今年度もシステム改修が消防局とのシステム連携関連で未実施となり減額となった。ただし、これらの項目についての増減額は、支出の部でも同様の増減額を計上しており収支に影響はないとした。次に、支出の部では先ず事業費では前述のシステム改修費は未実施で減額となっており、他には総会・交歓会関連での会場支出の減額、脳・循環器専門学術部会やホームページ保守未実施等で経費削減となり、又、役員運営費では会議開催回数や出席役員数の実績、及び予備費利用減から減額となった。更に福利厚生費では事務職員の年齢による保険料徴収継続停止となり実質経費削減となった。その他の一般経費は、備品費が新規シュレッダー購入で又、顧問料は平時以外の業務依頼をした為増額となったが、それ以外の一般管理費は概ね減額となった。以上の経緯により、令和7年度の決算結果は、予算書での当期収支差損額▲119万円から約125万円改善された6万円の収支差益となったと報告した。最後に定時総会終了承認後に各会員病院に交付される運営補助金の配分明細については既に3月度の理事会にて承認済みであるので、総交付額として少額の補正額があるが、詳細の説明は省略するとした。これを受け高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。よって、これらの報告書は定時総会に報告・議案提出する事となった。

5 「救急患者連携搬送料2」の算定に関する調査結果について

釜戸事務局長より、前回の理事会・実行委員会にて実施検討した標記調査結果について報告した。設問1の「救急患者連携搬送料2」の算定予定意思については約90%以上の会員病院が算定意思を示した。次の設問2の搬送元医療機関希望については、希望有りとは希望無しが1：2の比率となり今後の医療機関相互間での交渉が必要であるとした。最後の設問3の受入可能疾患標記については約50%の会員病院が具体例を示した。以上の調査結果の詳細内容も列挙し、一覧表にして、搬送元医療機関（一部記載のなかった公的医療機関も追加）、搬送先医療機関に資料提出する予定であるとした。これを受け、高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認された。

6 第47回定時総会の次第内容について

高橋会長より本年度の定時総会の次第内容について役員の役割分担の協力依頼があり、理事会にて慎重に審議され、適時適任の役割分担が確認された。

7 救急医療未収金回収支援事業について（令和5・6年度）

釜戸事務局長より、標記支援事業の経過報告があった。それによると、令和7年度（事業対象は令和5・6年度）の当該支援事業について会員病院へ適用となる申請依頼をしたところ、合計6病院からの申請があり総額で約53万円の申請額となった。この内容につき、二次救急事務局にて要綱に基づき厳選審査した後、神戸市健康局に支払請求したと説明があった。その後、神戸市健康局の審査完了を待って5月初めに二次救急協議会に交付予定となり、5月中に該当する6病院に事務局から振込予定であるとした。これを受けて、高橋会長が理事会に諮ったところ異議なく承認

された。

8 令和8年度神戸マラソンメディカル協議会委員の推薦について

釜戸事務局長より、神戸マラソン事務局から令和8年度の標記委員への推薦依頼が届いており、理事会にて審議して頂きたいとした。そこで、理事会にて審議した結果、前年度も委員を担当して頂いていた吉田泰久理事に引き続き依頼する事で意見が一致し、吉田泰久理事の同意も得た。後日、当事務局より、マラソン事務局へ推薦書を提出する事となった。

9 在宅酸素療法患者の災害時初動体制に関する検討会委員について

釜戸事務局長より、神戸市健康局保健所から標記検討会委員の選出依頼があり、理事会にて適任者を選出すべく検討した結果、神鋼記念病院呼吸器内科医長 稲尾 崇先生に担当して頂く事が本人の同意も得て決定した。後日、保健所へ通知案内する事になった

10 令和7年度罰則明細について

釜戸事務局長より、令和7度のMefis当番入力による罰則該当病院、及び罰則金額が確定し、その結果報告があった。当該罰則金は1年間通じて7病院で合計28,500円であった。これを受けて高橋会長が理事会に諮ったところ意義なく承認された。近日中に事務局より、該当病院に通知する事になった。尚、罰則金は補助金配分時に該当病院補助金から差し引かれる事になるとした。

11 二次救急輪番制当番引受必須義務達成について（令和8年1月～3月）

釜戸事務局長より、定款に則り標記状況についての結果報告があった。それによると、会員病院45病院が当番引受必須義務単位数（17.5単位）は無事にクリアされているとの事であった。これを受け高橋会長が理事会に

諮ったところ異議なく承認された。

東 阪 神

事務長会定期総会 議事録

日 時 令和8年4月17日(金) 16:00～
場 所 小田北生涯学習プラザ 学習室1
出 席 西宮、伊藤、宮宗、河上、榎村、井内、植木、井上、西原、石橋、畑林、堀、齋藤、野崎、徳岡、鈴木、丸中、沖、北村、辻井、川原、平山、上阪
計23名

議案審議

- 第一号議案 令和7年度事業報告
- 第二号議案 令和7年度収支決算報告・監査報告
- 第三号議案 令和8年度事業計画（案）
- 第四号議案 令和8年度会計予算（案）
- 第五号議案 令和8年度役員変更（案）

以上審議内容は全て全員一致をもって承認された。

その他

- ・令和8年度 事務長会看護部長会合同研修会について
- ・研修旅行について

次回開催予定日

日時 令和8年5月15日(金)
 15:00～
場所 小田北生涯学習プラザ

エ リ ア 情 報

西 阪 神

2026年度 事務長総会 議事録

開催日時 令和8年4月16日(木)
15:30～17:00
開催場所 西宮市医師会 会議室
出席者 32名のうち21名出席
議長 池崎会長
書記 岡田会報編集委員

議 案

議案1:「新会長の池崎会長より挨拶。32病院のうち21病院出席にて構成員の過半数出席にて総会成立の報告。」

第1号議案 2025年度事業報告(伊田副会長)

- ①2025年度事業報告
 - ②2025年度研修会報告
- 全員一致で採決された

議案2:

第2号議案 2025年度決算報告及び監査報告(的場会計・下林会計監査)

- ①2025年度決算報告書
 - ②2025年度会計監査報告書
- 全員一致で採決された

議案3:

第3号議案 2026年度事業計画案の承認(國見副会長)

- ①2026年度事業計画案
 - ②2026年度事務長会会員名簿
 - ③2026年度事務長会役員名簿
- 全員一致で採決された

議案4:

第4号議案 2026年度予算案の承認(的場会計)
2026年度予算案

全員一致で採決された

議案5 その他(伊田副会長)

- ・事業計画に関するアンケート結果
- ・西阪神民間病院協会(随筆・かわら版)原稿依頼者名簿
- ・会報執筆者一覧表

◎次回の事務長研修会の予定

日時 令和8年5月21日(木) 15:30～
場所 宝塚商工会議所会議室(予定)

東 播

第630回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和8年4月14日(火)
16:30～17:15

場 所 ホテルキャッスルプラザ西明石

参加者 田中、黒川、藤井、山野、伊福、西井、吉岡、永田、村上

協議事項

- 1 令和8年3月会計報告 →承認
- 2 今年度事業について
 - ・4月16日開催の事務長会総会の資料内容を確認。
 - ・次年度のスキルアップ研修会として、SNSマーケティングをテーマに株式会社インソースに講義依頼を行う。7月下旬を開催予定日として調整を行う。
 - ・就職フェアの開催について、対象とする職種、開催日程・場所など次回以降、詳細を決めていく。
- 3 医療情報交換
 - ・ベースアップ評価料の入力方法、Excelシー

エ リ ア 情 報

トについて意見交換を行った。

次回開催予定

日時 2026年5月12日(火) 16:30～

場所 ホテルキャッスルプラザ西明石

西 播

令和8年度第1回 理事役員会

開催日時 令和8年4月18日(土) 13:00～

開催場所 姫路キャッスルホテル 2階 松の間

理事総数 11名 出席理事 7名

監事総数 2名 出席監事 1名

出席役員 会長：東 靖人
副会長：井上喜通、中空浩志
理事：尾崎公彦、古城資久、
半田佳彦、山本英雄
監事：中谷裕司

議 題

- 1 兵庫県民間病院協会 理事会（令和8年4月16日(木) 令和8年度 第1回開催）からの報告

2 西播民間病院協会 検討事項

- (1) 令和7年度事業報告および会計報告、令和8年度事業計画（案）について
6月11日(木)開催の定時総会にて承認を得る。

- (2) 定時総会・講演会・懇親会の開催について

開催概要、来賓および招待医療機関、役割（案）について確認が行われた。

日 時 令和8年6月11日(木)

18:00～

場 所 ホテルモントレ姫路

次 第

1. 総 会

18:00～ 3階「メヌエット」

2. 特別講演

18:30～ 3階「ルツェルナ」

演 題

「新たな地域医療構想からみる
今後の展望」

講 師

厚生労働省医政局医事課長

西嶋康浩氏

3. 医療連携交流会

19:30～ 3階「ラフェスタ・キアロ」

- (3) 西播民間病院協会 事務長会・看護部長会への助成金について
本年度の助成金について承認された。



協会だより

令和8年5月 18日(月) 会報編集委員会
21日(木) 理事会
25日(月) 診療報酬改定研修会 配信終了

〔予定〕

令和8年6月 12日(金) 令和8年度事務長会・看護部長会合同幹事会
18日(木) 定時総会・特別講演会・懇親会

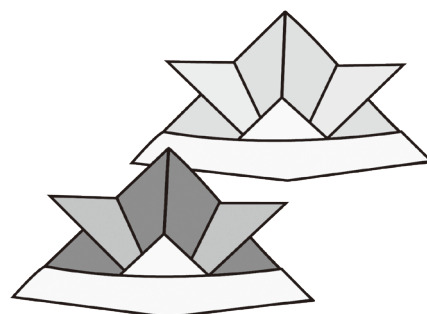
令和8年7月 15日(水) 理事会（兵庫県病院協会と合同開催）
17日(金) 令和8年度近畿病院団体連合会第1回委員会
27日(月) 第3回都道府県病院協会連絡協議会

令和8年8月 1日(土) 第21回研究発表会

お知らせ

以下の申し込みを受け付け中です。
詳しくは兵庫県民間病院協会ホームページからご確認ください。

- 総会後の特別講演会・懇親会
開催日：令和8年6月18日(木)



(一社)兵庫県全日本病院協会だより

一般社団法人 兵庫県全日本病院協会

令和8年度 第1回理事会議事録(速報)

I 日 時 令和8年4月16日(木)
15:00～15:30

II 場 所 兵庫県医師会館6階
第2・3会議室

III 出席者 理事総数13名 出席理事10名
監事総数2名 出席監事2名
理 事：宮地千尋(会長)、吉田寛(副会長)、
鄭正秀(副会長)、橋本創、常岡豊、
大江与喜子、越智豊、西昂、
中井正信、大石麻利子
監 事：大隈健英、東靖人

なお、吉田寛、越智豊、大石麻利子はWeb
会議システムにより出席した。

IV 会長挨拶

宮地会長より、イラン情勢について、厚生
労働省より、全日本病院協会に定点観察の実
施について要請があり、対応には負担が見込
まれるものの、データ提出に努めていく旨の
発言があった。

V 会議の成立

理事10名が出席し、定款第35条に規定する
定足数を満たしており、本理事会が成立した
旨確認された。

VI 議 長

宮地千尋会長が、定款第34条の規定により
議長となった。

VII 議事の経過の要領及びその結果

1 協議事項

(1) 令和8年度定時総会及び特別講演会・
懇親会の日程・役割分担等について
(共通事項)

中村事務局長より、資料に基づき、総
会及び特別講演会・懇親会の役割分担案
の説明があり、協議の結果、全員一致を
もって承認し、可決した。

①日 時 令和8年6月18日(木)
14:00～19:00

②場 所 ラ・スイート神戸
オーシャンズガーデン

③講演会

厚生労働省 保険局 医療課 課長補佐
佐々木 康輔 氏
(演題)

令和8年度診療報酬改定の概要

(2) 健保連人間ドック実施指定施設の新規
申請に伴う実情調査について

中村事務局長より、資料に基づき、新
規申請に係る調査について各支部で対応
するよう依頼があった旨の説明があっ
た。また、人間ドック委員会委員長を務

める西理事より、必要に応じて宮地会長を通じて実情調査への協力を依頼する可能性があり、その際は協力をお願いしたいとの報告があった。

2 報告事項

(1) 会員の変更について

中村事務局長より、以下のとおり会員の変更が報告された。

病院名 (法人名省略)		伊丹恒生脳神経外科 病院
新会員名	役職	院長
	氏名	しまだ しんいち 島田 真一
旧会員名	役職	院長
	氏名	のだ しんや 野田 真也
変更年月日		R8.4.1

Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく終了した。

公益社団法人 全日本病院協会

2026年度 第1回常任理事会

日 時 2026年4月18日(土) 13:00～16:00
場 所 全日本病院協会 大会議室
出席者 定数26名、出席23名

議 事 要 旨 (抜 粋)

【主な報告事項】

●中央社会保険医療協議会 調査実施小委員会 について

津留常任理事より下記の報告がされた。
(第63回・2026.4.8)

- 2026年度医療機関等の経営状況に係る臨時調査の実施案が了承された。

●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。
(第649回・2026.4.8)

- 小塩隆士氏・永瀬伸子氏が退任し、後任とし

て井深陽子氏（慶應義塾大学経済学部教授）・菅原琢磨氏（法政大学経済学部教授）が就任した。

- 医薬品等の費用対効果評価案が提示され了承された。
- 2026年4月15日収載予定の新医薬品の保険適用が了承された。また、1品目について14日ルールを延長する条件を満たすことから、例外的に「処方日数の制限は設けないこと」とすることが提案され了承された。
- 最適使用推進ガイドラインが策定された医薬品の保険適用上の留意事項を発出する旨が報

告された。

- DPCにおける高額な新規の医薬品等への対応について、提案通り了承された。
- 在宅自己注射指導管理料の対象薬剤を追加する旨の説明があり了承された。
- 2026年度改定を踏まえたDPC/PDPSの現況が報告された。
- 2026年度診療報酬改定における臨時的なDPC準備病院の募集案が了承された。
- 2026年度診療報酬改定については、2027年度予算編成において加減算を含め更なる必要な調整を行う可能性があり、2026年度の医療機関等の経営状況等を把握する必要があることから、調査の実施案が提示され了承された。
- 2026年度診療報酬改定の答申書附帯意見（26項目）について、次期診療報酬改定に向けて、調査及び必要な検討に入る旨の説明があり、了承された。
- 再生医療等製品の医療保険上の取扱いについて、一部、医療機器または医薬品として取り扱う旨の説明があり了承された。

●医療介護総合確保促進会議について

美原副会長より下記の報告がされた。

（第22回・2026.3.11）

- 地域医療介護総合確保基金の執行状況、2024年度交付状況等及び2025年度内示状況が報告された。
- 2024年の地方からの提案等に関する対応が報告された。
- 2040年に向けて、医療従事者を安定的に確保し、質が高く効率的な医療提供体制を構築するために、医療機関の業務効率化・勤務環境改善について報告が行われた。
- 改正医療法による「新たな地域医療構想」に関する総合確保方針の改正について、報告が行われた。

●社会保障審議会医療部会について

神野会長より下記の報告がされた。

（第126回・2026.3.26）

- 地域医療構想及び医療計画等に関する検討会がとりまとめた、「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」及び「医師確保計画の見直し等に向けたとりまとめ」が了承された。
- 精神疾患に係る第8次医療計画の見直しについて報告が行われた。
- 社会保障審議会医療部会に「医療法人情報の第三者提供に関する専門委員会（仮称）」の設置が提案され、了承された。
- 健康保険法等の一部を改正する法律案の閣議決定について報告が行われた。

●医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会について

美原副会長より下記の報告がされた。

（第14回・2026.4.17）

- 2026年度の医学部臨時定員が報告された。
- 2027年度の医学部臨時定員の方針等が提案され、了承された。
- 2028年度の医学部定員の方向性が提示され議論した。
- 今後の地域枠等の運用について、課題の整理や事例収集、ヒアリングの実施等、議論の進め方が了承された。

●2025年度「災害支援ナースに関する調整会議」について（2026.3.30）

猪口副会長より下記の報告がされた。

- 災害支援ナースに関する協定締結状況と今後の活動について報告が行われた。
- 2025年度「災害・感染症に係る看護職員確保事業」の実施報告が行われた。

●介護分野における特定技能協議会運営委員会について

山本常任理事より下記の報告がされた。

（2025年度第1回・2026.3.25）

- 出入国在留管理庁より、育成就労制度の概要等について説明が行われた。

- 厚生労働省より、外国人介護人材の受入れの現状と今後の方向性について、①外国人介護人材確保の関係予算事業、②外国人介護人材に係る訪問系サービスの従事、③パート合格（合格パートの受験免除）、④育成就労制度、⑤福祉人材確保専門委員会等における議論について説明が行われた。
- 国際厚生事業団（特定技能協議会事務局）より、2025年度外国人介護人材受入・定着支援等事業について報告が行われた。

●各委員会報告について

- 人間ドック委員会委員長の西常任理事より、人間ドック実施指定施設の新規施設認定「書類審査料」の新設が報告された。

●四病協報告について

井上常任理事より、2026年3月に日本医師会・四病協有料職業紹介事業に関するワーキンググループがとりまとめた「医療分野における人材確保と有料職業紹介事業等の適正化に向けた提言」について報告された。また、2026年3月24日に「有料職業紹介事業の適正化とハローワークの機能強化に関する要望書」を上野厚生労働大臣に提出したことが報告された。

●厚生労働省、日医、各団体報告について

- 井上常任理事より、一般社団法人日本専門医療機構理事会（第22回）について報告された。

【討議事項】

●中東情勢と日本の医療について

神野会長より下記の説明が行われた。

- 4月10日に開催された上野厚生労働大臣と医療関係団体（三師会・四病協）各会長との意見交換会に出席したことが報告された。意見交換会で厚労省側から示された資料「中東情勢の影響を受ける医薬品、医療機器、医療物資等の確保に向けた厚生労働省における取組」（4月9日）、「石油関連製品の供給不足に伴う厚生労働分野の影響・対応」（4月8日）等について説明された。
- 2026年3月18日に「イラン情報と日本医療－医療サプライチェーン機器への政策提言－」を上野厚生労働大臣に提出、また、4月10日に「提言書（再提出）－中東情勢を踏まえた医療サプライチェーン強靱化について－」を厚生労働大臣宛に再提出したことが報告された。
- 「中央情勢（イラン問題）に伴う医療材料供給への影響に関する報告書」（4月1日付）について説明が行われた。

上記説明を受け、医療現場の状況について意見交換を行い、医療現場の状況としては、卸業者から諸物価の高騰により、医療手袋など、医療資材等の値上げの打診があるほか、現在の取引分は確保できるが、増量分の確保は困難との回答を得ていること等が報告された。

意見交換を受けて、神野会長は、「ホルムズ海峡の問題が解決しても世界経済が混乱しており、医療が大きな影響を受ける」と指摘し、今後、国に対して、診療報酬の期中改定など、必要な対応を要請していく考えを示した。





兵庫県病院協同組合だより



金額単位：円

4 月 度 事 業 報 告	種 目	件 数	取扱高	前年同月比	種 目	取扱高	前年同月比
	1. 融 資	0 病院			8. 保 険 (手数料収入)	6,403	0
	2. 寝 具	24 病院	6,186,838	△ 203,332	9. 飲 料 (手数料収入)	4,486	△ 759
	3. 白 衣	19 病院	6,905,224	△ 1,643,341	10. そ の 他 (手数料収入)	110,000	106,205
	4. 患 者 衣	7 病院	657,426	8,019	11. 参 加 料	220,000	220,000
	5. パ ン	0 病院			12. 医 療 資 材 売 上	396,935	396,935
	6. 牛 乳	1 病院	25,326	3,029			
	7. 防 虫	0 病院					

4月理事会について

日 時 令和8年4月16日(木)
14:00～14:50
場 所 兵庫県医師会館 6階 第1会議室
役員総数 理事8人 監事2人
出席理事 8人 (うち本人出席5人)
(うち議決権行使書出席3人)
出席監事 2人

定款の規定により理事長西昂が議長に就任、理事会の成立を報告し、直ちに議事に入った。

議 題

1 議案事項

(1) 令和7年度決算について

議長は、事務局長から、令和7年度事業報告、決算及び剰余金処分案等について説明させ、慎重審議の結果、原案どおりとすることが全員一致で承認された。

なお、決算に関しては、和田監事から決算関係書類が適正であった旨の監査報告があった。

(2) 第64回通常総会に上程する議案について
議長は、事務局長から、第64回通常総会の議案について説明させ、慎重審議の結果、原案どおりとすることが全員一致で承認された。

(3) 第64回通常総会の議事進行について

議長は、事務局長から、第64回通常総会での役員の役割分担、進行スケジュール等について説明させたところ、役割のある理事が出席できないことが判明したことから、他の理事に役割変更した修正案を作成して慎重審議の結果、修正案どおりで議事進行することが全員一致で承認された。

(4) 電動ベッドリース事業計画案等について

議長は、事務局長から、電動ベッドリース事業に関する事業計画、収支見込み等について説明させ、当組合顧問税理士及び兵庫県中央会契約税理士の意見を踏まえ慎重審議した結果、リース事業開始に向けて事務局で準備を進めるが、まず、迅速に事業開始ができ、かつ固定資産税等の組合負担のない割賦販売（一括払いも可能とする）から開始することが承認された。

また、組合での共同購入メリットが出るよう、事務局に対しては一層の価格交渉が求められた。

2 報告事案

(1) 出資額の変更登記等について

事務局長から組合員数減少に伴う出資額の変更について、中小企業等協同組合法第85条第2項の規定により登記を行うとの報告があった。

(2) エレベーター保守等の見積依頼申込書について

事務局長から、3月理事会で承認のあったエレベーター保守点検事業者の会員への紹介に際して使用する見積申込書について説明があり、理事で情報共有を図った。

(3) 組合からの脱退等について

事務局長から、医療法人解散に伴い、医療法人社団つかさ会尾原病院の退会報告があった。また、3月理事会で加入承認を行った医療法人共生会但馬病院が本部の方針変更により、加入申請を取り下げたとの報告があった。

(4) 3月度事業及び収支について

事務局長から、資料に基づき3月の組合活動状況等の報告があった。

(5) 次回理事会等の開催日時について

・通常総会

令和8年5月21日(木) 14:00～14:50
医師会館6階 第4会議室

・定例理事会

令和8年7月15日(水) 14:00～14:50
医師会館6階 第1会議室



兵庫県病院企業年金基金だより

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表 (2026年4月～2026年4月)

収益率計算方法 : 修正ダイナミック法
 総合口6資産分解 : 分解する

ファンド名	速 確 区 分	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キヤッシュ等 (短期資金)		その他		資産全体		資産全体 修正総合利回り (構成比)
		時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	時間加重	金額加重	
		時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)	時価総額 (構成比)		
ベンチマーク		-0.63%	-	6.57%	-	-0.34%	-	8.02%	-	0.06%	-	0.06%	-	-	-	-
総合計	確	-0.44%	-	6.49%	-	-0.37%	-	8.05%	-	0.06%	-	0.12%	-	1.18%	-	1.18%
		4,735,347,808	936,398,139	819,128,674	948,756,471	269,413,105	1,419,277,150	2,955%	15.55%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
みずほ信託銀行合計	確	-0.64%	-	6.41%	-	-0.37%	-	8.01%	-	0.06%	-	0.12%	-	1.05%	-	1.05%
		2,954,600,997	632,359,296	543,112,144	642,098,496	207,189,565	1,352,321,007	3.27%	21.36%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	69.36%
みずほ信託銀行 バランス	確	-0.64%	-	6.41%	-	-0.37%	-	8.01%	-	0.06%	-	-	-	1.30%	-	1.30%
		2,954,600,997	632,359,296	543,112,144	642,098,496	207,180,486	1,352,321,007	4.16%	21.36%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	54.55%
みずほ債券 S A	確	-	-	-	-	-	-	-	-	0.06%	-	0.29%	-	0.29%	-	0.29%
		-	-	-	-	-	-	-	-	9,079	644,359,012	644,368,091	100.00%	100.00%	100.00%	7.06%
みずほアラロン	確	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-0.03%	-	-0.03%
		-	-	-	-	-	-	-	-	0	707,961,995	707,961,995	100.00%	100.00%	100.00%	7.76%
三井住友信託銀行 バランス	確	-0.64%	-	6.66%	-	-0.38%	-	8.15%	-	0.00%	-	0.06%	-	1.34%	-	1.34%
		792,427,020	157,988,856	143,492,670	159,233,229	0	66,956,143	0	5.07%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	14.46%
三菱UFJ信託銀行 バランス	確	-0.64%	-	6.64%	-	-0.34%	-	8.12%	-	0.06%	-	-	-	1.31%	-	1.31%
		732,764,622	146,049,987	132,523,860	147,424,746	61,612,932	1,220,376,147	5.05%	5.07%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	13.37%
りそなマルチ	確	3.24%	-	-	-	-	-	-	-	0.06%	-	-	-	3.23%	-	3.23%
		255,555,169	-	-	-	-	-	-	-	610,608	256,165,777	256,165,777	100.00%	100.00%	100.00%	2.81%
		99.76%	-	-	-	-	-	-	-	0.24%	-	-	-	-	-	-

注) 「ファンド名」 - 「ベンチマーク」 - 「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表 (2026年4月～2026年4月)

収益率計算方法

: 修正ダイアツ法

金額単位 : 円

ファンド名	速確区分	2026年3月末 時価総額	2026年4月末 時価総額	増減額	増減の内訳			時間加重 収益率	複合ベンチ マーク騰落率
					掛金等	給付等	収益		
総合計	確	9,093,302,119	9,128,321,347	35,019,228	36,924,132	109,075,669	107,170,765	1.18%	—
みずほ信託合計	確	6,337,856,006	6,331,681,505	-6,174,501	36,924,132	109,075,669	65,977,036	1.05%	—
みずほ信託バランス	確	4,987,162,121	4,979,351,419	-7,810,702	36,924,132	109,075,669	64,340,835	1.30%	—
みずほ債券SA	確	642,520,020	644,368,091	1,848,071	0	0	1,848,071	0.29%	—
みずほアラロン	確	708,173,865	707,961,995	-211,870	0	0	-211,870	-0.03%	—
三井住友信託バランス	確	1,302,694,073	1,320,097,918	17,403,845	0	0	17,403,845	1.34%	—
三菱UFJ信託バランス	確	1,204,608,590	1,220,376,147	15,767,557	0	0	15,767,557	1.31%	—
りそなマルチ	確	248,143,450	256,165,777	8,022,327	0	0	8,022,327	3.23%	—

【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI		TOPIX		FTSE世界国債		MSCI-KOKUSAI		10年国債		米10年国債		米NYダウ(ドル)		米10年国債		為替(円/ユーロ)	
	配当込み	日興CB	日興CB	配当込み	FTSE世界国債	MSCI-KOKUSAI	コール有担保	日経平均(円)	10年国債	為替(円/ドル)	10年国債	為替(円/ユーロ)	米10年国債	為替(円/ユーロ)	米10年国債	為替(円/ユーロ)	米10年国債	為替(円/ユーロ)
2026年3月末	330.411	-	-	6,229.53	672.67	10,908.206	-	51,063.72	2.345	159.090	46,341.51	4.30	183.303	183.303	4.30	183.303	4.30	183.303
2026年4月末	328.326	-	-	6,638.55	670.38	11,783.174	-	59,284.92	2.515	156.705	49,652.14	4.40	183.823	183.823	4.40	183.823	4.40	183.823
年度末比上年率幅	-0.63%	-	-	6.57%	-0.34%	8.02%	-	16.10%	-	-1.50%	7.14%	-	0.28%	0.28%	-	0.28%	-	0.28%

兵庫県病院企業年金基金のホームページ <https://www.hyogokenbyoin-kikin.or.jp>

ISR

Intelligent Social Reliance
アウトソーシング サポート



ISRビル (統括本部)

〒650-0026
神戸市中央区古湊通1丁目2番
(ISRビル)

(業務案内)
TEL 0120-366-761
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士
ISR 梨本

働き方改革策定

労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合
経営者会議

概算確定・労災特別加入

合同会社
ISR パーソネル

副業推進支援

人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports

シニア躍動・企業健康経営

株式会社
アイ・エス・アール

データセンター ISR

レセプト管理・情報デザイン

ISRサテライトオフィス

リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ (兵庫県)

病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など
70年以上の実績があります。



今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- ・ 翻訳
- ・ イラスト作成
- ・ ストーリー仕立てのまんが化

動画にも
できます

すべてまるっと、お任せください！

印刷以外も

ご依頼ください！



ホームページ



動画



デジタルサイネージ



看板



資料のデジタル化
(冊子・図面など)

情報をデザインする会社



株式会社 七旺社

URL: <https://www.shichiou.co.jp>

TEL: 078-575-5212

FAX: 078-577-8366

e-mail: info@shichiou.co.jp

〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目27番地



担当: 佐藤 まで

医療・福祉のスマート経営に、
アプリケーションは自由自在。



多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション ワタキューグループの[包括委託サービス] (セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする[セイモアシステム]は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株) / リネンサプライ・販売・総合サポート
- (株) フロンティア / 調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- 日清医療食品(株) / 給食受託事業・在宅配食サービス事業
- (株) メディカル・プラネット / 人材紹介・派遣・研修事業
- 綿久リネン(株) / ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 古久根建設(株) / 総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキューセイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

近畿支店 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101

神戸営業所 / 〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1 藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

業務案内

兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基準寝具及び 白衣・患者衣の賃貸	○ ワタキューセイモア(株)
	牛乳	○ (株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○ アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○ (株)チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク(株)、 (株)アペックス西日本
	保 險 代 理 店	○ 損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス) 兵庫県民間病院協会の会員病院、職員を対象とした自動車保険・ 火災保険等の取扱い ○ アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、職員を対象とした集団扱い商品 (がん保険) の取扱い
	自 動 車 リ ー ス	○ (株)イチネン
	院内システム導入・ 電気工事等	○ (株)ヒューマンスピリッツ
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○ (株)諒和 組合員病院の職員を対象とした福利厚生及びその家族の疾病予防、 健康増進の一助として、年2回程度幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○ (株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
	看護師グッズ通信販売 (対象:特別法人入会が条件) ※ 病 院 ご と の 発 注	○ (株)ナースステージと提携 (京都府病院協同組合との協働事業) (株)ナースステージの特別法人会員にご入会いただくと、通信販売 「アンファミエ」商品をご購入金額にかかわらず10%割引
引 越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○ (株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL0120-56-1141)で申込むと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)	

※上記以外にも、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

ホームページからお気軽にお問い合わせください。公式サイト URL : <https://hgbyokyoso.com/>



組合員数 107 個人・法人
 理事長 西 昂 (医療法人康雄会理事長)
 専務理事 鄭 正 秀 (医療法人社団博愛恵秀会理事長)
 常務理事 森 村 安 史 (医療法人樹光会理事長)

- ・ 協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます(出資金は脱退時に返却)。ご加入後は年会費など頂戴することはありません。
- ・ 取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・TEL (078) 230 - 2525
 FAX (078) 230 - 2526



(一社)兵庫県民間病院協会会報

令和8年5月25日発行・通巻663号

発行人 一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長 橋本 創
〒651-0086 神戸市中央区磯上通6丁目1番11号 兵庫県医師会館7F
TEL (078) 230-1181 Eメール info@hgminkanhp.or.jp
URL <https://www.hgminkanhp.com>
編集者 譜久山剛、榎村忠浩、園田 香、原 正也、山田泰嗣、吉田明史

印刷 (株)七旺社 神戸市長田区二番町4丁目27番地・TEL (078) 575-5212(代)